

No. 1232

や な 漁

— 岐 阜 ・ 揖 斐 川 —

岐阜県・揖斐川。清流では落ちアユを求めてやな漁が始まった。やな漁は川をせき止め産卵のため川を下るアユを一ヶ所に誘導、手づかみする独特の漁法。今なお昔ながらの方法が受け継がれている。

やな場ではアユ料理が人気、大勢の観光客が訪れている。やな漁で賑わう川原にはもう秋の気配が漂っている。

熱 球 譜

— 全 国 高 校 野 球 —

5万8千の大観衆を集めた甲子園球場。8月20日、第59回全国高校野球の優勝をかけた愛知代表の東邦対地元兵庫代表の東洋大姫路の決勝戦が行なわれました。2回の表、東邦は立松が左前ヒット。二盗に成功、井上の投前バンドで三進、古川の一塁横を抜くヒットで還り一点を先取。一方東洋大姫路は四回裏一死後平石が右中間に三塁打。スクイズをはずし、大矢捕手が三塁へ悪送球の間、平石ホームインして同点。6回の表、東邦は森田、立松が連続ヒット、井上が四球で出塁して無死満塁。一死後木戸のスクイズは投飛となり、三塁走者立松も刺されダブルプレー。“甲子園の星”15歳の坂本と松本の投げ合いは昨年続き、延長にもつれこみます。十回の裏、東洋大姫路は田村の安打と松本の四球で二死、一・二塁。四番安井は初の決勝でのサヨナラ本塁打をはなち、結局4対1で東邦を破り、初優勝しました。